

現場見学会のおしらせ

現在、地区内では15棟の建物が完成あるいは建築中です。これらの工事の様子を直接見て、皆さんの建替え計画に役立てていただきたく、現場見学会を開催します。どなたでも参加できます。おさそい合わせの上、あでかけください。

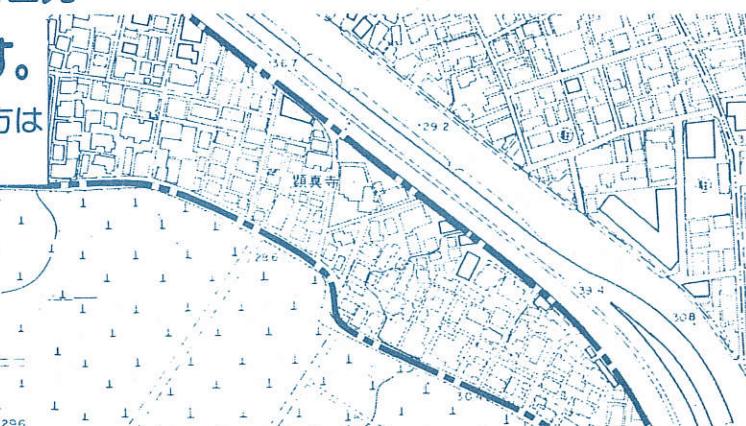
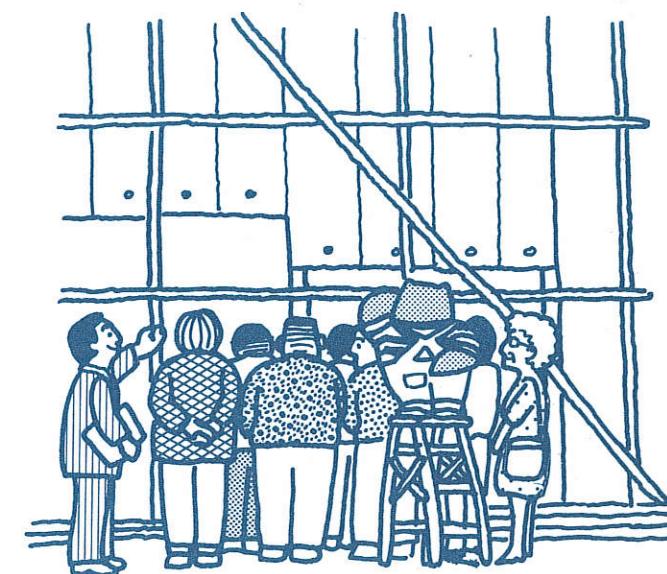
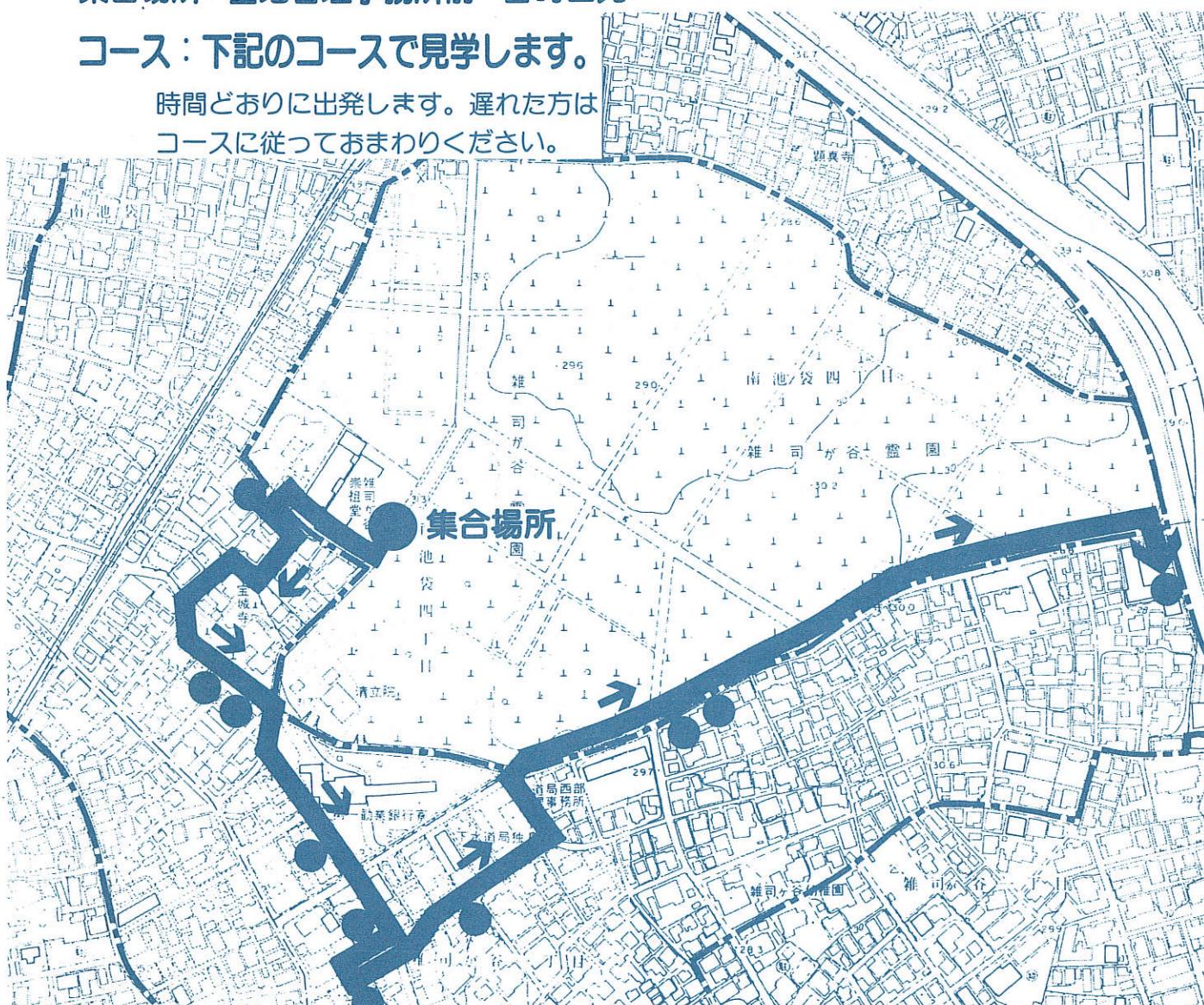
日 時：昭和60年10月5日(土)

午後2時～4時

集合場所：墓地管理事務所前 2時出発

コース：下記のコースで見学します。

時間どおりに出発します。遅れた方は
コースに従っておまわりください。



雑司が谷墓地周辺地区

街づくりニュースNO.14

災害につよいまちをめざして

企画・発行：雑司が谷地区不燃化促進協議会

豊島区企画部住環境整備

編集協力：財団法人 都市防災研究所

発行日：昭和60年10月



墓地の木々にも秋の色

雑司が谷の木々を渡る風にも、秋らしさ
が日増しに深まる今日この頃です。

豊島区は、都内でも公園や緑地の少ない
区となっていますが、雑司が谷墓地は学習
院大学に次いで樹木を多くたたえ、貴重な
緑のオアシスとなっています。木の葉の色
やそこに集まる動植物によって四季を感じ
ることのできるこの緑地を、区民の共有の

財産として守り育てていきたいものです。

今回のまちづくりニュースは、みどりと
まちづくりについて、昔の緑の様子や、こ
れからの育て方などについて考えてみたい
と思います。

また、今年度から新たに、三世代住宅を
お建てになる方に加算助成をする制度がで
きました。その紹介をします。

特集 みどりとまちづくり



むかしの雑司が谷 《みどりの雑司が谷》

去る8月3日、雑司が谷区民集会室において、雑司が谷一丁目町会の方々をはじめとした有志の方にお集りいただき、みどりとまちづくりについて懇談会を開催しました。

会では、むかしの雑司が谷のみどりの様子やこれからまちづくりについて、話하였습니다。その一部をここに紹介します。



墓地の堀

● 墓地のまわりは生垣でした。万年堀になったのが昭和10年頃で、それまでは土手があって、その上に生垣がありました。

■ 当時は、墓地のまわりの道も狭く、雑司が谷集会室の前のケヤキも、もともとは墓地の中にあったものです。それが、土手をとり道



生垣がなくなり道が広くなつた。



路を1mぐらい広げたため、道路に出てしましました。

▲ 道路を広げたために、交通量が増えました。昔は車が入れるような道ではありませんでした。

● 道の雰囲気も昔の方がよかつたですね。

■ 生垣の高さは、土手を加えると今の万年堀と同じくらいありました。

▲ 生垣は、カラタチなど、いろいろなものが植えられて一種類ではなく、変化に富んでいました。

● 古い万年堀がとり壊された時は生垣になるかと思い期待していたのですが、また万年堀になつてしまい残念でした。



みどり

● 当時の緑の様子がわかるのは、第一勧銀の寮ぐらいでしょう。昔はあのあたり一帯があ屋敷になっていて、中には池があり、よく遊んだものです。

■ 高い所に吉川のお屋敷があつて、その下の低い方には、当時、関西の方から勉強をしにくる若い人達のための(育英の)寮がありました。

だから、あの辺一帯は、本当に一つの森だつたんですよ。昔から緑が多くて、竹やぶもありました。

▲ 雜司が谷幼稚園の所にも、わりと大きな木がありますね。

● あれは、Iさんという方が一生懸命残して下さっていて、そのおかげで、あの辺もずいぶんと緑が多いんです。

■ 墓地の中も昔はもっとたくさん木がありました。

▲ お墓に枝がかかるとよくないという事で、初めのうちは枝だけ落していましたが、木



がどんどん大きくなるため、しょうがなく切ってしまったものもあります。

● 墓地は木の成長が早いみたいですね。どこかの木が枯れそうになると、墓地の方へ持ってきて植えておき、元気がよくなるともどしていました。そうやって残った木が大きくなって、今の大木になっています。



ひとくちメモ〈豊島区の公園〉

豊島区の公園、緑地面積は、昭和60年4月現在、121,925m²となっています。これを区民1人当たりに換算すると0.46m²/人となります。が、残念ながら23区内では最低の水準となっています。これは区内に都立公園等の大規模な公園がひとつもないことも原因となっています。

しかし、豊島区では墓地や大学などのオ

ブンスペースが多く、雑司が谷、染井墓地、立教、学習院大学を合わせると約592,000m²に及び、公園面積をはるかにしのぐ面積となっています。

特に墓地は、可能な所から公園化を図り、区民が利用できるオープンスペースとして整備していくことが基本計画にうたわれています。



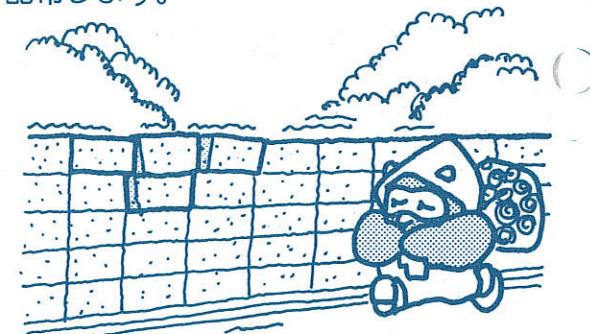
ブロックべい

- 昔は、どの家にも庭があつて緑がたくさんありました。今は、庭のない家がこの辺でも随分増えています。庭がないというより1件1件が狭くなっていますね。
- 敷地が狭いと、ブロック塀にしてしまう家が多いようです。
- 生垣より、ブロック塀の方が安心感があるかもしれません。
- ブロック塀より生垣の方が登りにくいし、防犯上はそれほど変わらないと思います。
- ブロック塀の方が工事が簡単で、維持費もかからないので使いやすい材料というこ

▲ 景観上は、いい材料とは言えませんね。それに地震の時は倒れることも考えられます。

● 景観上でしたら、(生垣にしなくても) ブロック塀に、ツタをはわせるだけでも、随分良くなるのではないかでしょうか?

▲ そうですね。それにツタは、民間施設の緑化という事で、御要望があれば区の方で配布します。



パンフレット「みどりをたいせつに」
(豊島区)より

ひとくちメモ〈みどりのはたらき〉

「みどり」は、私たちが快適でゆとりある都市生活をおくるために必要ないろいろのものをあたえてくれます。

騒音をやわらげ
心にやすらぎを
あたえてくれる



炭酸ガスや空気中のよごれた物質を吸って酸素をつくり、空気をきれいにする。

野鳥や
昆虫を集める

夏の気温をさげ、寒風や
砂ぼこりを防ぎ、
気温をやわらげる

火災の延焼を防ぐ
働きも大きい。

みどりの機能

- 美観機能 (やすらぎと都市美観上の効果がある)
- 浄化機能 (酸素を供給し、空気をきれいにする)
- 保温機能 (植物の蒸散作用により高温をさげる)
- 防音機能 (都市騒音をやわらげる)
- 防風機能 (寒風の速度を減じる)
- 防火機能 (熱放射、火災を防ぎ、延焼を防止する)



生けがき助成

● 区では、緑化推進を積極的にやっていくという事で、今年の4月から土木部公園課に新しく緑化推進係ができました。主な事業内容としては、生けがき造成の助成、苗木の無料配布等が上げられます。

■ 生けがき造成の助成は、過去4年間に約250mの実績がありますが、これは、みんなの5m、10mという積重ねの結果です。

▲ 生けがきは、狭い場所の緑化に適しており、地震の際にもたおれる心配がなく、安全性の面からも高く評価されています。

● しかし、残念ながら、雑司が谷地区ではこの助成を利用されている方はまだ、いらっしゃいません。

■ 今年もすでに、他の地区では、何件かの御要望がでています。雑司が谷地区のみなさんにもぜひ、利用していただきたい、助成の1つです。

生けがき造成の助成

区では、新たに生けがきをつくりたい方、ブロック塀等を生けがきに改造したい方に、費用の一部を助成します。



▲ 苗木の無料配布は、家庭で緑に親しんでいただくために、区内の公園などで、春と秋におこなわれてあり、実施前に「広報としま」で、お知らせしています。

▲ 今年の春は、東池袋の方でお祭的に、計400本のクチナシ、サザンカ等の苗木を配布しました。これまで、年間3,000本近く配布しています。

● こういった活動で、地域のみなさんが、緑の効用などについて考えたり、又、震災の問題、見た目の情感等、広い範囲での緑の大切さを理解していただければ、と思っています。



対象

- 生けがきを新設
- ブロック塀、万年塀などを生けがきに改造

基準

- 道路に面し、延長3m以上のもの
- 樹木の高さが1m以上あり、相互に葉がふれあう程度に列植されているもの

助成金額

- | | |
|-----------|--------------|
| 生けがき造成 | 1mあたり 5,000円 |
| 既存塀の撤去 | 1mあたり 3,000円 |
| いずれも40mまで | |

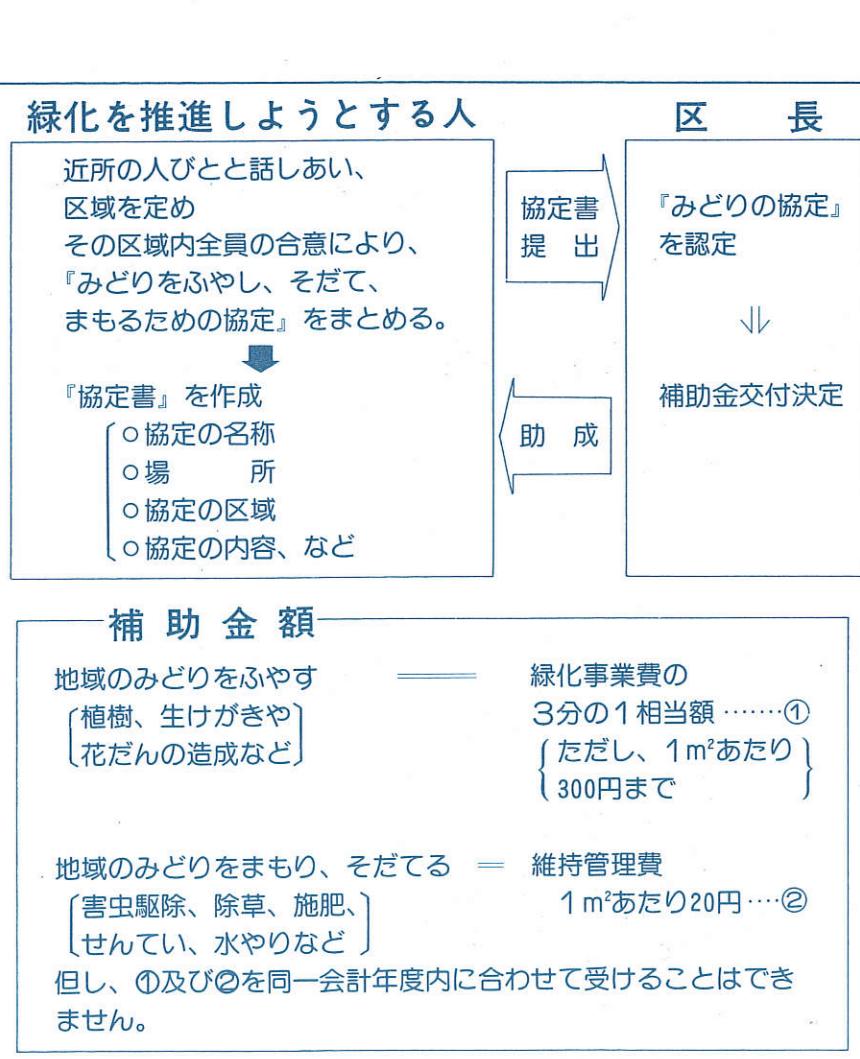
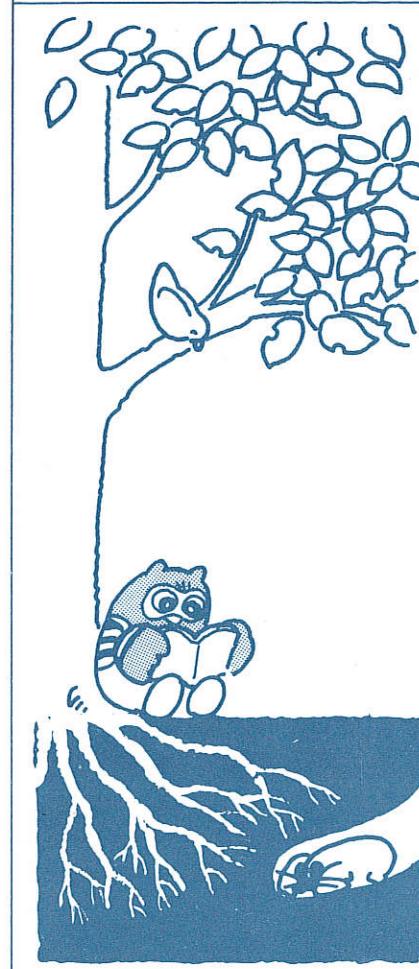
(注) ○着工前に申請してください。
○現地調査のうえ、決定します。

みどりとまちづくり

- まちづくり、緑化に関しても、まちのみなさんが主体的に動いてくれないと、区ができる事は、ほんのわずかなものになってしまうと思います。
- みなさんでまとまって、区に何かを訴えていく姿勢が大切ですね。
- 例えば、女子大寮通り拡幅の反対署名のように、今度は地域のみなさんの間で、「樹木をふやそう」「生けがきをつくろう」など緑化について話しあい、まとまりましたら区域を定めて『みどりの協定』を結ぶことができます。



〈みどりの協定〉



あ し う せ

三世代住宅に加算助成

—協議会の要望みのる—

うものです。

これは、今までの共同化加算にさらに上のせできるため、例えば2人で共同化し、その一方で三世代で住む場合、390万円の助成金を受けることができるようになります。

- 基本助成 220万円
- 共同化加算 50万円(2~4人の場合)
- 三世代加算 120万円

合 計 390万円

くわしくは、パンフレットをごらんください。

拡幅のための説明会 …その後

去る6月10日と14日、あづま通りと女子大寮通りを対象とした拡幅のための説明会が開催されました。

両会場とも、ほとんどの関係者にお集りいただき、区からの説明にひきつづき熱のこもった質疑が行なわれました。

あづま通りでは、ひき続きこの問題について街区研究会を開き検討していくという合意が得られました。今後、研究会を通じ具体的な事業の方針や内容について話し合っていきます。

女子大寮通りでは、地域の環境を守りたいという主旨の意見が書面で提出されました。

